

後援  文化庁  東京都  台東区

川柳という文芸が生れて250年。
江戸に興った庶民文化の財産を
共に楽しみ、未来へ継承すべく
本年は各種行事が行われます。

二〇〇七年八月二五日は、川柳発祥二五〇年の記念日です！

川柳二五〇年



「元祖川柳翁肖像」(川崎誠一氏蔵)

主催：川柳 250 年実行委員会

会 長：吉住 弘 (台東区長)
実行委員長：前田安彦 (川柳学会顧問)
事 務 局：114-0005 東京都北区栄町 38-2 senryu250@estyle.ne.jp
03-3913-0075 (事務局長・尾藤一泉)
URL：http://www.senryu-gakkai.com/senryu_250/

川柳発祥 250年にあたり

現在、私たちが受け継いでいる「川柳」という文芸の名称は、明治以降に固定したのですが、その元となったのが、柄井八右衛門という人の俳名「川柳」で、その名が世に現れてから、来年でちょうど250年になります。この八右衛門という人は、江戸は浅草新堀端（現台東区蔵前4丁目）に現存する天台宗 龍宝寺門前の名主で、宝暦7年（1757）40歳の折に、前句附という附合文芸の宗匠となり、号を「川柳」と称し、8月25日にはじめて万句合の第一回開（発表）を開始しました。

この川柳宗匠の選んだ句が「川柳点」と呼ばれ、独特の面白さが江戸中の評判となります。これが、『誹風柳多留』という選集となり、ベストセラーになったことから、川柳の名はいよいよ高まり、その文芸は、黄表紙や洒落本などとともに江戸文学の一角に伝統文芸としての地位をしめるようになりました。現在でも人々が思い浮かべるような人口に膾炙した句をたくさん残した川柳の点業は、33年間、その間『誹風柳多留』は24篇に及びましたが、これが現在なお隆盛にある川柳文芸の原点となりました。それからさまざまな経緯はありましたが、明治の改革期を経て近代化、その始祖の号をそのまま文芸名として今日に至りました。

以上により川柳発祥250年目の節目にあたる平成19年（2007）を「川柳の年」と位置づけ、一年を通じて川柳を社会に発信するとともに、この伝統文芸が経てきた長い道のりに思いをいたし、250年を振り返る事業を行います。

皆様のご協力とご参加を心より願っております。

会長 吉住 弘（台東区長）
実行委員長 前田 安彦（宇都宮大学名誉教授）

<主な協賛行事> 2007.4.10現在 共催募集中

大江戸せん柳展（営団地下鉄・上野御徒町駅）台東川柳人連盟 5/15-6/5
『川柳総合大事典』全4冊刊行 雄山閣出版（3～8月）
川柳発祥250年「川柳セミナー」公募ガイド主催 5/19
川柳250年協賛「川柳で歩く江戸東京」（読売日本テレビ文化センター）6/13～
『柳多留』発祥の地川柳展（住友信託銀行・上野支店）6月中開催
「川柳250年 団塊川柳コンテスト」（川柳公募）ドクター川柳主催 6/15～切
川柳250年「ビール川柳」（公募川柳）サッポロビール主催 6/15～切
川柳250年 柳都川柳大会 柳都川柳社主催 6/24
「川柳発祥250年記念・青田カップ」東京川柳会主催 6/24
下町ライブ七夕まつり川柳展（テブコ浅草館）台東川柳人連盟 7/5-8
川柳発祥250年記念・銀の鈴川柳大会 銀の鈴川柳社 7/6
川柳250年 北海道川柳大会（ライフオート札幌）7/8
朝顔市協賛川柳250年句会（台東区生涯学習センター）台東川柳人連盟 7/8
「川柳250年 男と女のフォト川柳コンテスト」バイエル薬品 7/15～切
川柳250年記念 新万句合（「川柳マガジン」主催）切7/31
川柳発祥250年記念（川柳展）東京川柳会 8月中
川柳発祥の地川柳展（東京東信用金庫・三筋支店）8/14-26
川柳250年記念 みだ六忌 東京川柳会 8/19
川柳立机250年記念 東葛川柳会8月句会（流山市生涯学習センター）8/25
川柳で迎える江戸浅草展（浅草松屋ギャラリー）8/22-28
大江戸せん柳展（営団地下鉄・上野御徒町駅）台東川柳人連盟 8/16-31
浅草灯籠会 川柳作品展（浅草寺境内）9/15-29
川柳250年記念 川柳忌下川柳大会 青森県川柳社 9/23
川柳250年記念 東北川柳大会（宮城・ホテル法華クラブ）9/23
川柳250年記念 川柳人パークゴルフ大会（札幌）9/中
川柳250年協賛「箸川柳」コンテスト（兵左衛門）9/30～切
川柳250年特別企画『川柳作家大全集』刊行（新葉館出版）9/30～切（12月刊）
公開講座「川柳250年一名作で学ぶ」（朝日カルチャーセンター新宿）9/30
川柳250年台東川柳人連盟文化祭川柳大会 10/1
川柳250年記念 川柳人ボーリング大会（浅草楽天地ボウル）10/15
第39回台東文化祭・川柳展（台東区生涯学習センター）10/25-11/3
一葉まつり協賛 川柳250年川柳展（樋口一葉会館）11/21-23

川柳250年メイン行事

① 「川柳発祥の地」記念碑建立

建立位置：「三筋二丁目」交差点付近

日時：2007年8月25日除幕

*皆様からの浄財基金により建立されます。
ご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。



② 川柳250年記念式典・講演・句会

日時：2007年8月25日（土）10時開場

会場：台東区生涯学習センター・ミレニアムホール

講演：鶴見大学名誉教授 山下 一海 先生

宿題：事前投句（各2章・投句料1000円）

「新しい」北海道 斎藤 大雄 選

「堀」青森県 北野 岸柳 選

「栄える」宮城県 雫石 隆子 選

「樽」新潟県 大野 風柳 選

「芽ぶく」大阪府 天根 夢草 選

席題：当日発表（3題・各2章・会費1000円）

*投句は、表記事務局宛。切7月25日。

*宿・席題参加者は、献句を1句添えてください。



③ 平成万句合（公募川柳）

募集：2007年3月5日～6月25日（25日消印有効）

題：「太陽」（出句無料・表現自由・出句制限なし）

選考：脇屋川柳、大野風柳、尾藤三柳、
磯野いさむ、斎藤大雄、大川幸太郎

懸賞：川柳250年大賞（1章）10万円

優秀賞（3章）5万円

佳作賞（1万円）、ジュニア奨励賞（図書券5千円）

ほか特別賞、入選（100～300章）記念品

*投句は「川柳250年」Webサイトまたはハガキ。

「平成万句合」と朱筆、表記事務局まで。1枚3句。

Webフォーム：http://www.senryu-gakkai.com/senryu_250/02gyo_manku.html

④ 目で識る川柳250年展

<東京展> テブコ浅草館 2007年8月14日～8月26日

<札幌展> 北海道文学館 2007年9月15日～11月7日

<新潟展> 新潟美術館 2007年11月23日～12月6日

展示物：「元祖柄井川柳翁像」（天保3）ほか歴史史料

『誹風柳多留』原本ほか川柳関連著作資料

久良伎、剣花坊ほか川柳大家染筆作品・資料

現代川柳作品、資料等川柳全体を俯瞰できる展示。

⑤ 『川柳250年の記録』

2007年1年間における川柳250年のすべてのイベントを記録した書籍を刊行。川柳250年で得た作品、行事、参加者を次の川柳300年へタイムカプセルとして残します。

『川柳250年の記録』は、ビジュアルな記録として後世に残す成果物になります。

<川柳250年基金のお願い>

以上のようなイベント運営および川柳のさらなる社会進出に向けた運動のため、皆様からの基金協賛を募集します。募集対象：法人、吟社、個人

協賛金額：1口2000円（何口でも可）

募集期間：平成18年10月1日～平成19年12月1日まで。

募集方法：口座名：川柳250年実行委員会

1. 郵便振替口座 口座番号：00150-5-668834

2. みずほ銀行・王子支店 店番号557-1268266